2000年4月にスタートした介護保険制度は5年目の改正を目前に控えている。国があって人がいるのか?・・そうではないはず。人が生活するのは「地域」でなければいけない。とき、それらはかねてふくたにも十分な留意が必要である。しかしそこに潜む危険の改正骨子としての地域に根ざした発想を追いはいけない。とき、それは必ずしも私たとき、それは必ずしも私たらであるとは限らない。制質であるとは限らない。一度転換を追い風としつつ、とに大筋合致することであるとは限らない。制質であるとは限らない。制度を当時間であった。 用であれ、家事授 リービスが、福祉 こする論拠は、現 の 予防重視型に転 援祉現転 助用状换 で具のし ②地域密着サービスの創設 ②地域密着サービスの創設 ②地域密着サービスの創設 の特養など、地域に密着したサービスが着目され、 をれらは、志ある市民の血 のにじむような苦労と工夫 で成り立ってきたものであ る。それらがその理念のま まに制度化されると思うの は大きな錯覚であり、制度 化は質の変化をもたらす。 に地域ごとの自由な創意工 夫は用しなくなる。 夫は用しなくなる。

福祉と住環境を考える ふくてっく

るデ度ああ を タ 促かデ 分進えイ いと者利 ていの用 いう重で

の見直

にそうだろうか。今後は否にそうだろうか。今後は否にそうだろう。そしてそ着するだろう。そしてそれはサービスが利用者の重度化を予防できていない度化を予防できているという指摘は論理的には正しい。しかし、では何故パワーリハがし、では何故パワーリハンが表って重度化を招いているという指摘は論理的には正しい。しかるのか。のか。

週措置が採られ、参入障壁 の上では、様々な運営理念と手法を伴って、様々な運営理念と手法を伴ってなる全国展開事業体のようにあるにものがでてきたら・・それなどうにあるのである。 とって好ましい展開が期待しては、必ずしも地域と共に苦労を重ねてきたら・・そのはの上では、必ずしも地域にとって好ましい展開が期待しては、情報の標準化できるとは思えない。これできるとか、その故の「第3者」と、事業としては、情報の標準化である。 しては、情報の標準化である。 しては、情報の標準化である。 しては、おそらく「業界」しても、おそらく「業の向上に関係を出ないないでして「地域になができるか。地域にしてがである。 しては、情報の標準化である。しかにしては、おそらく「業界」にある。 での質の向上は望めないのである。 である。

等出は

施設給付 σ ユ己い者 二負る負ッ担。担 トと室の

約円 ケ ス ア ° 3

あ構 そるて着キ る想区の。 での目決求でワ であるに続いて一切のである。 そは各区 施で点

の自決求でしれる。 A (イ) 越え をないのできないのできないのできないのであるため、なったのは異ない。 できないのできない。 。はなっ密の

多床室タラ 及の負担増-ダイプでも1 くは月額約~ と月6年初

制度 ら見たい。 して

やな施も施し間かに求地でいいた。 ではないないない。 ではないないない。 ではないないない。 ではないないない。 まう

これはまさに地でれの地域ニーでに小規模多機によっている機能をでればいけた。そういるにいません。 地なうケズカ

制

能回直市ね課設 度運用 σ

がループホームが事実そうであった。制度化されたうであった。制度化されたがループホームでは、まるで特養に入所するための待機所という機能が一化している。同じように、制度上いる。同じように、制度上いる。同じように、制度上いる。同じようで、一体どうなるのだろうか。
(例えば、コインパーキングの地主が箱物をたてて、それを賃貸して、借り受けた業者が広域で小規模多機能ケアを展開するといったま業が急速に拡大する)地域で関わる人の努力地域で関わる人の努力である。これが事実そ あんの

いはずで、それで、それのになって、それのになっている。

民が思いました。

大規の たれめの の核と なる社

の 規模多機 は、特養には診療所が併設が活かされているが、これできない。立派なが活かされていない。例えば、特養には診療所が併設が活かされているが、その対象はが活かされているが、その対象はは、特養入所者に限定されているが、その対象はが活かされているが、その対象はできない。立派なるために地域市民にサービスを提供できない。立派なるために地域市民にサービスを提供できない。立派なるために地域市民にサービスを提供できない。立派なるために地域市民にサービスを提供できない。立派なるが、こうした施設が表すで、その対象はずだ。

一方、施設内部をどんどん在宅生活環境に近づけているのは、何もそこで死まで暮らす事を目指しているからではないだろう。 「住み慣れた地域で長く暮らす」ことが叫ばれて久しいのに、何故いまだに施設に入居希望が殺到するのか。それは地域が崩壊しているからではないのか。に、地域の課題であるとともに、地域の課題であるう。(中北 清)

大事なのは知的障害者を抱える家族の支援だが、それを目指した地域プログラムは身体的、精神的に支援でなる。すなわち、日常活できる。すなわち、日常活で、重要な役割がいしたいことになる。を発達段では身体的でなく、家族のためのプログラムを展開しているが、本人だけでなく、大阪工業大学では身体的に支援があるが、本人だけでなり、地域、専門家に対したいことともに地域でラムを展開しているが、それぞれの支援があるが、専門家においたが、そして知的障害者が家族を見がいしたいことともになる。そこで、重要な役割が別したかともに地域であるが、専門家においたが、そして知的障害者が家族を見がが大きな課題だが、それぞれの支援があるが、事門家においた。ともには対したが、専門家においたが、そして知的障害者が家族を見がが大きな問題だが、を見が非常に重要なのがケアマネージャーの養成(資質向スージャーの養成(資質向のキーマンとなるケアマネージャーの養成(資質向スージャーの養成(資質向なが非常に重要なのだ。 ポ包 `ロオし域活 康ュ精の活待 `ロラそを

2005年3月

第63号

特定非営利活動法人

福祉とは

知的

]障害者

 \mathcal{O}

が望

む

ふくてっく

ね

`期

向マそなると | さこ支と支者る評

福祉と住環境を考える

559-0034大阪市住之江区南港北2-1-10 ATC ITM棟 11F エイジレス L

ホームページ http://www.occn.zag.ne.jp/fukutech/

TEL/FAX 06-6614-6800 いム性を児たがけの がある。期に 必育 然性科 性科知の問題を場りれる時代を場合的がある。

字部 中村 友不成17年1月8 8 知的財 * 産

を可能な療育をして身体機能の改善が出去ない、間き手行動が出去ない、間から地域によって社会認知といった。を有所によってときない、出コー、命名がができない、東門家は「言葉が出ない、自傷・他傷をない」と言うばかのできない、エコー、命名ができない、中的な療育をした行動をを向上させる。とも家族にとなってそれはといってだ。専門家は「言葉が出ない、自身を担合した行動を高いとをの方が効めでできない、「言葉が出ない、「言葉が出る。例子と遊べない。の子と遊べない。の子と遊べない。の子と遊べない。

近隣

会専従 久 保 ピア・ コリアボランティ 麗子 カウンセラ ア 協

来センタ・ 来センタ 未 ター -」震災語 「人と防災

「災害弱者」とは何だろうか。災害の前には強者もうか。災害の前には強者もが弱者となり、そこに社会が弱者となり、そこに社会が弱者となり、そこに社会が弱者となり、そこに社会が弱者となり、そこに社会が弱者とない。人が生きて行る。具体的には、建物やインフラなど、いわゆるハードの課題はもちろんだが、働えば「情報が得られたがい」「判断ができない」

- ク西須磨だNPO福祉 N P 0 ふ

(2)

震災フォ

ーラム

ネッ

神戸

一市民、

んらん

畑

てっく 級建築士コ 中 北 俊治 事務局長、 住宅改修部長、 清 ا ج イネ Ν Р 0 ター ふく · 級建

てっく

今世紀は災害の世紀といっまでもなく、圧倒的な自まが存在する。先例を待と、高齢化など様々な防災屋、高齢化など様々な防災屋、高齢化など様々な防災屋、高齢化など様々な防災を、高齢のなどがある。災害はいつ起のまでもなく、圧倒的なり、また軟のは、災害の世紀といっました。 ないことは沢山あるはず。し、そんな私たち市民がでしかない。しか然の猛威の前に、私たち人 中に息づかなければいけなそしてそれは普段の生活の れネータ る方が多数おられ、経験をろのケア」を必要としてい ター また、

の亀裂を発生されているか、地震は

充生させるが、⁴地震は断層とい

中北

大友 ネラ

ともみ

る。 せないようであった。

さが災害時に見えてくると実は日常的にも存在する弱「行動ができない」など、 いうことなのだ。

の復興期の、そして今なお の中で、嬉しかった事、悲 の中で、嬉しかった事、悲 の中で、嬉しかった事、悲 を適切につなげるコーディつけたボランティア、それ こいに助け合う市民と駆けた。 自らも 被災しながらしているのかを熱く語られ 震災直後の、そ年前の生々しい うして全国に発信しようと事・・そして、今何故こ 神戸から参加いただ 鈴木さん そしてその い体験から、 はじ 後 が た。

間ではその思いは言い尽くはならないと、限られた時 生きる夢をもつ事もでき語り合うことで心を開き、 らないと、限られた時あの体験は風化させて ょた、今なお「ここ-の重要性を強調さ れたものである。

構造や在日の方が多いといを置く大阪市生野区と産業の久保さんは、協会が本拠 効に活動できるためには、れたが、ボランティアが有心に支援活動を続けてこら う共 要素をもつ長田区を中 コリアボランティア協会

だと指摘されたるシステムの数 るシステムの整備活動拠点とこれも

者も不在でそれは恐ろしい 思いをしたが、近所の方々 に助けて頂いたことがきっ た事だが、自分をさらけ出 良かった、プライバシーも 良かった、プライバシーも できたのはかえって でもらう勇気」 者も不在でそれは恐ろしいれている。震災当日は介護 ピア・カウンセリングをお車いす生活をされながら、 大切なことを訴えられ 大友さんはご主人とも. をさ

できるか」などと議論しながら、知らず知らず助けるのではないかと反省させらのではないかと反省させらのではないかとのではないからであれる文化を広めてことをつい忘れているが、 我々 「市民になにが

畑さんは、住宅の耐震性 を向上する意義と必要性を が、町会役員といわ が、町会役員といわ も、地域福祉の充実が課題 も、地域福祉の充実が課題 も、地域福祉の充実が課題 をいうが、町会役員といわ れる者が正しく住民を代表

売備が不可欠れを受け入れ で

しれな

の今後の活動ヨ票ょう、造的改革もまた、我々市民た。そうしたシステムの構のでは、という意見があっ

→ Mall & E を E さ せるが、社の関わりの喪失であり、こるに人とのつながり・人とるに人とのつながり・人との関わりの喪失であり、これをいかにして再獲得してれをいかにして再獲得してい、そして総合的な意味にい、そして総合的な意味にい、そして総合的な意味にい、そして総合的な意味に そして総合的な意味に必・仕事・財産・すま

会的な断層という見えない ちこって、多重多層的に人 は町会といった外をつくってしまわない豊かな地域コミュニティにこそ求めうるものだ。そして、「地域」と は町会といった物理的な地 は町会といった物理的な地 がってある。そのような考えに立って、多重多層的に人 のである。その社会を創っておしたができる。その社会を創っては をたいと締めくくられた。

ふくちゃん バリヤフリーのひな人形

設計 部 ビスの見学

デ イサ

太陽保育園 特養向日葵

を担当されたジオ・アーキさん、磯田(事)スタッフさん、磯田(事)スタッフと小川でデイサービスの見と小川でデイサービスの見とが、磯田(事)のも、磯田 んに案内をお願いし、しかネットの原さんと井戸田さ も駅まで送迎付という>

を縫う 習 る中、 3日後に控えて、 じた。 到着した場所は、

(ひまわり)

正も行われており、その間でした。 の構品の数々が搬入されい、備品の数々が搬入されいが一の方々の実 のででででいた。 待遇でした

は橋が掛けてあり、ゲート は橋が掛けてあり、ゲート も和風に仕上げてありました。デイの沿槽が大小3個配置 とバの浴槽が大小3個配置 されていて、手摺の箇所、 で考えた洗い場、全体に共 で考えた洗い場、全体に共 で考えた洗い場、全体に共 飾り棚もあって、作品を展付台は手摺も兼ねてあり、車椅子用の高さが異なる受に工夫がしてあり、一 用と ントランスは、あらゆったりとした空間の明る ントランスは、あらゆる所たりとした空間の明るいエ大きなガラス屋根でゆっ

プン折戸で明るい広々とし井までいっぱいのフルオー た空間で、 隣接

特養、 保

つ

ょ、フッドデッキ付で、天ました。地域交流スペースの辺りはこだわりが見られ床から38㎝を基準とし 広い厨房があり、

机、椅子、手洗い、 入り込んだ様な、 急にスケールの違う 1階奥に保育園があり、

兼ねる立派な物で上育園、地域への宅 地域への宅配弁当も

4 5 と思う程広く、 ありました。 どんどん れどれだけ大き 一番奥には保育園まで、地域交流スペースあ思う程広く、延床 積はれどれだけ大きいのかれどれだけたきいのかれどれだけをいのかが進むに

場として囲炉裏を作り、茶で明るくたくさんの工夫が 古りました。 施主と利用 ありました。 施主と利用 も特注で、自慢は出入口戸 も特注で、自慢は出入口戸 も特注で、自慢は出入口戸 で の 3 ユニット の 5 アーの 3 ユニットの 2 アーの 3 ユニットの 2 アーの 3 ユニットの 2 アーの 3 ユニットの 4 アーの 3 ユニットの 4 アーの 3 ユニットの 2 アーの 3 エニットの 2 アーの 3 ユニットの 2 アーの 3 エニットの 3 アーの 3 アーの 3 エニットの 3 アーの 3 ニット864 室もありました。 も中庭と大きな開口を使っ ト86床の特養でこちら1階~4階は、計8ユ

机、椅子、手洗い、そして の歓声?があがり、 真を撮 りまくり…。 勿論、シック りまくり…。 勿論、シック の歌声?があがり、 真を撮 はコルクで、乳幼児室の畳 はコルクで、乳幼児室の畳 はコルクで、乳幼児室の畳 に考慮して戸先・尻にクッ をりました。扉には指づめ たった。扉には指づめ -スがあり、暖炉・煙2階に上がると遊戯 様な、小さなんの違う空間に た。有難うございほデアをたくさん頂き

「小椅子」に決定しまし今回は杉浦さんのアイデアから作品を提案しますが、 た。

子ども木工教室

ラザで親子の木工教室をし2月20日(日)キッズプ **★**+ ッズプラザ

根の建物で並んで建つ緑色水色の外壁に、とんがり屋外に出て保育園を望むと スの入口みたいです。 がました。: 建物でした。そしてと、又広くて明るい雰囲気とその大きさにびっくり サンタクローの中には階段が

要です。まず、ふくてっくでには色々な人の協力が必ました。この日を迎えるま 色々な人の協力が必。この日を迎えるま

が、ケガもなく無恵くスタッフも大忙しで大変にぎわい、と

ふくて

つ

手際よく材木をカットして口でなければできない技では長岩さんの出番です。プル先を借りての作業。ここ 店先を借りての作業。ここんで角材と合板を調達し、世話になっている材木屋さ 型話になっている材も 材料の準備に、いく れました。 つ もお ない、来年度も継続となりまれ、水、ケガもなく無事終えた、が、ケガもなく無事終えた、す。本当にありがとうございました。キッズプラザのいました。キッズプラザのいました。キッズプラザのは、来年度も継続となります。

川村参加加

松本 者

池端•

長岩

杉浦

有馬

当日のスタッフも必要でから、でを開け、釘を打ち、予め穴を開け、釘を打ち、予め穴を開け、釘を打ち、予めいががある。 備も大変です。 当日は 大変です。今回、ボー作品のアイデア、 50 、cm ボの 角材をノ ボ 準

> 光川 環 代)



◆お知らせ 「わくわくネットワー研修部ホームページ 都合により休止いたします ペー Ż

くださり、ル盤にオ

た

子どもたちは

ださり、大変助かりまし盤は松本さんが運んで 研修部ホ-

平田 研一氏 宇治市市地域福祉の限界 40名の参加 月2日 $\widehat{\pm}$ 午 宇治市市会議員 ·後 1 タ時 3階会議室 ~ 5 時頃

日

4月

菊池 弓子氏 (有)アフターフォー「アフターフォーティー」って?大阪市立社会福祉センター 3階令5月7日(土)午後1時 30分~5 3階会議室

有難うございま

定例会のお知らせ 講学場習 所

ても勉強、

参考に.

になりアイ

の

建物でし

5 月

代講学場日 表習師会所時